

1日30分以上の読書は思慮深さを身につけさせる、学力を向上させる
新聞を読んで自分で考える力・批判的な思考能力を身につけよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)今日は、まず最初をお願いしたいことが一つあります。秋の全国交通安全週間が始まりました。運転中にいつもいつも心掛けているのは、車間距離です。車間距離をきちんと取っておけば、絶対とは言えませんが、事故に巻き込まれる可能性が非常に少なくなります。ですから、車を運転している皆さんは、前の車と自分の車との車間距離を十分に取っていただいて、前の車が急に停車しても追突しないように追突防止をよろしくお願い致します。
- (3)この「開倫塾の時間」は今まで25年放送しており、最初の15年間はこの追突防止のお話を毎回毎回させていただいておりました。最近あまりお話させていただきませんでしたので、今日はせっかくの全国交通安全週間ですのでお話をさせていただきました。車を運転されている方は、車間距離を十分に取って下さい。どうかよろしくお願い致します。

2. 1日30分以上の読書は思慮深さを身につけさせる、学力を向上させる 新聞を読んで自分で考える力・批判的な思考能力を身につけよう

- (1)秋ですので、次に読書のお話をさせていただきます。日本人の読書量は多いか少ないかと言いますと、最も少ない国の一つです。これは、OECDが行っている中学3年生から高校1年生の調査であるPISA調査(学力到達度調査)からわかったことですが、特に日本の高校生は世界で最も読書量が少ないと言われていました。10年ぐらい前の調査です。1日に30分以上読書をする生徒の割合は日本が27.1%、カナダは33.6%、フィンランドは48.6%で、日本は圧倒的に低かったです。最後まで本を読むのが困難な方は16.9%、どうしても本を読まなければならないときしか本を読まない方が21.5%です。また、じーっと本を読むことができない方は、日本では11%です。これは本当に衝撃的なことだと思います。
- (2)この調査に日本の政府機関が本当に驚いて、学校での読書時間を増やすようになりました。その結果、学校で朝の10分間読書が始まり、少しずつ読書が好きになった生徒が増えてきたということです。そして、読書が大好きな趣味の一つと答えた生徒は42%になりました。10年前は本当に本を読まなかったのですが、今は少しずつ読むようになってよかったなと思います。ただ、問題はどのような本を読むのか、つまり読書の中味が問題です。もしかしたら、学年を考えるとずいぶん簡単すぎる本を読んでいる人が多いかもしれません。

- (3) 今回の OECD の調査で学力がトップだった上海では、読書をしない人がわずか 8 % でした。読書に毎日 30 分以上費やす人の割合は、56.1 % と非常に高かったです。ですから、読書をする方は学力が高いか低いという話がありますが、これはもちろん読書をする方は学力が高い、読書を確実にあまりしない方はあまり学力が高くないということになります。ですので、はっきり言えば毎日 30 分以上の読書を確実にすれば学力は上がるのです。
- (4) 上海ではほとんどの高校生が 30 分以上読書をしていますが、日本では大多数の方が本を 30 分読むか読まないかという調査の結果でした。日本の高校生で 30 分以上読書をしている方は 30 % ぐらいしかいません。じーっと心を落ち着けて本を読むことができない高校生がたくさんいます。このことは日本の大問題であるかもしれません。
- (5) これからは高校を卒業して大学に進学する方がたくさんいます。大体 8 割の方が高校卒業後に大学・短大・専門学校に進学します。せっかく難しい勉強をするのですから、中学生・高校生のうちに読書の習慣をつけておいて、大学・短大・専門学校に進学するとよいと思います。
- (6) また、社会に出て働く方もたくさんいらっしゃいます。働くときにも読書によって思慮深さを身につけることは大切です。仕事の意味やお客様が何を考えているかなど、仕事をするときにもたくさんたくさん勉強しないとよい仕事はできません。ですから、読書をしてその基礎を築くことも大事だと思います。
- (7) 読書をするとい体何が身につくかと言いますと、思慮深さです。深くものごとを自分で考える力、そして、自分自身を振り返る力がつきます。今は、非常によい時期ですので、秋の読書をしていただければと思います。
- (8) 読書には新聞を読むことも含まれると思いますので、小学生は 1 日 20 分、中学生は 40 分、高校生は 1 時間以上新聞を読んで、読書の一環として加えていただければと思います。
- (9) 新聞を読むと身につくのは、批判的思考能力です。新聞にはよいこともたくさん載っていますが、世の中の問題点や事件・事故・政治の動きなどもたくさん載っています。新聞記者の方々は非常に問題意識が高く、社会の番犬(watch dog)となって社会の課題、問題点にかじりついてものごとの本質、つまり、何が問題なのか、なぜそのような問題が起こったのかについて鋭く指摘するのが仕事です。ですから、新聞の記事を読んでこのような見方もあるのだと自分で考える力を身につけていただきたい。自分の目の前で起きていることは一体どんなことなのかを、自分の力で考え、その原因を推定し、自分でその解決策を考え、自分の力でそれを成し遂げる。このような自律的な行動を行う前提としての批判的思考能力を身につけていただきたいと思います。そうすると、よい世の中が少しずつ少しずつできてくると思います。

3. おわりに

- (1) 今日ぜひ皆さんにお願いしたいことは、読書によって思慮深さを身につけること、新聞を読んで批判的思考能力を身につけることです。これらが、自分でものごとを考えるとても大事なポイントになりますので、よろしくお願い致します。
- (2) 秋の交通安全週間ですのでもう一度お願いします。前の車との車間距離をたくさん取っていただき、前の車が突然止まっても追突しないようにして下さい。くれぐれもよろしくお願い致します。